



東京バプテスト神学校ニュース Tokyo Baptist Theological Seminary News

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2024年11月7日 発行者：東京バプテスト神学校 藤井 秀一

巻頭言

新カリキュラムについて

みんなの神学校を目指して

東京バプテスト神学校 校長

藤井 秀一 (花小金井キリスト教会)



2025年度から、私たちの神学校は新たな一歩を踏み出します。新カリキュラムの導入により、時代の要請に応える変革を遂げようとしています。

バプテストの精神は、すべての信徒が、常に聖書に立ち返り、置かれた時代にあって福音を生きることと私たちは理解しています。この精神に基づき、新カリキュラムの理念を「みんなの神学校」と決めました。この理念に基づき、教役者を目指すだけでなく、あらゆる信徒が共に学び、働き人として成長する場を提供していきます。

現代の教会は、教勢の低下、少子高齢化、財政難など様々な課題に直面しています。フルタイムの教役者を招聘することが困難な教会も増えていきます。このような状況下で、信徒一人

一人が奉仕者として成長していく学びの場としての「みんなの神学校」の重要性は、今後ますます高まっていくでしょう。

東京バプテスト神学校は、当初から信徒伝道者の養成を目指し、仕事をしながら学べる夜学と通信制の神学校として長い歴史を持っています。特に早くから ZOOM によるライブ授業を導入し、コロナ危機を乗り越え、現在では教会音楽科の一部を除き、ほぼすべての講義をオンラインで行っています。このオンライン技術の早期導入は、「みんなの神学校」の理念を実現する東バブの重要な強みとなっています。

この新カリキュラムは、教会と神学校が共に歩み、新しい未来の教会を作

り上げていく第一歩です。私たちは、皆様の教会から神学生を送り出してくださいと心から願っています。また、教会員の皆様にも積極的に講義を受講していただきたいと思ひます。

教会と神学校が手を携えるとき、私たちはさらに豊かに主の御業を担うことができるでしょう。この新しい取り組みは、単なる教育改革にとどまらず、諸教会の宣教の活性化を目指すものです。皆様の積極的な参加と支援が、この新しい歩みを実りあるものへと導きます。共に祈り、学び、成長していく教会の未来を、皆様と共に築いていきたいと心から願っています。

500円からご支援できます!

後援会の会費が
月々500円から ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからもお手続きができますので、
ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

▲ 今すぐアクセス! <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)



新カリキュラムのコンセプト

東京バプテスト神学校 教務主任 じょうくら けい 城倉 啓 (泉バプテスト教会)



2025年度から神学校のカリキュラムが変わります。

「みんなの神学校 Your Seminary」にふさわしく、「簡素」「拡充」「統合」を旨としたカリキュラムです。

簡素化をはかって科やコースを整理し、本科・教会音楽科・専攻科の三つにしました。多くの隔年開催科目を大幅に減少させ受講しやすくしました。また本科と教会音楽科を2年で修了で

きるように取得単位数をそろえました。神学校が「みんなのもの」になればと願っています。

すべてのバプテストにとって大切な学びを拡充しました。それは旧新約聖書の原典に触れることです。自分で聖書を読み味わう靈性を養いたいです。そしてバプテスト教会という特徴ある教会形成に資する学びです。みんなでバプテストになることを目指したいです。

本科・教会音楽科・専攻科、この三つで一つの神学校であろうと統合化を図りました。教会音楽科の科目を必要に応じて本科の科目に吸収しました。内容が関連する科目は統合しています。本科学生・専攻科学生も教会音楽科の科目を受講できるようにしました。

新カリキュラムの具体

簡素・拡充・統合というバランスを科目レベルでみてみましょう。

「キリスト教史」という一つの科目で通史を学びます。従来は「教会史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と切り分けていたものです。「教会」から「キリスト教」とした趣旨は周辺他宗教文化との相互影響も加味しているからです。この視点から宗教学を廃しましたが、その一方で「バプテスト史」という科目は変わらず維持しています。

「組織神学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「教会形成論」「教会学校論」を統合し、新たに「バプテストの神学」という科目を新設しました。バプテスト教会は固定化した信条、教理、神学という枠組みすらも自由に批判し、時代状況に即した教会形成を各個教会がしています。「神学

する」という営みを「バプテストに成る」という営みと組み合わせる学びます。神学入門の応用編です。

従来の聖書学関連の科目を統合し拡充しました。旧約／新約聖書学Ⅰでは概論、新約／旧約聖書学Ⅱではテーマ掘り下げと通時的釈義を、ギリシャ語／ヘブル語Ⅰでは文法、ギリシャ語Ⅱ／ヘブル語Ⅱでは原典講読と共時的釈義を。語学はⅠⅡ共に必修としました。さらに他の神学校でも開講していないアラム語を新設し、原典読解と釈義の幅を広げます。

実践神学に強い当校の特長を人権の学びを統合することで拡充させます。現代の宣教課題を見据えて伝道学と宣教を統合。牧会学をハラスメントの視座で組み立てなおします。説教も

含めて実践神学分野の科目はほとんど減少させていません。夏期冬期公開講座で人権・平和の学びや専門性の高い学びを提供します。

教会音楽科の科目のいくつかは隔年開催としながら本科との共通科目としました。「礼拝学Ⅰ(賛美歌学・礼拝音楽)」「教会音楽総論(キリスト教音楽史・教会音楽概論)」です。また関連科目を統合したものもあります。「音楽基礎・実践(楽典・ソルフェージュ、和声・編曲)」です。従来の「指揮法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」も「会衆賛美Ⅰ・Ⅱ」としました。

2年から3年に延伸した専攻科においては教会実習と卒業論文を通年の科目にし拡充を図っています。教会音楽科の専攻実技は存置しています。

みんなの聖書プロジェクト

聖書語学の専門性を確保することと連動して、「みんなの聖書プロジェクト(仮称)」を準備しています。これはウェブサイトに聖書翻訳を2種類順次公開していくというプロジェクトです(2

025年度から2029年度までで訳予定)。翻訳するのはバプテスト有志のみなさん。ギリシャ語・ヘブル語・アラム語の履修者や卒業生も翻訳チームに加わっています。2種類の翻訳の

うち一つは極端な直訳であり、もう一つは極端な意訳です。ぜひこのプロジェクトを物心両面で支えていただければと願っています。

「カルト問題とキリスト教」 — ゆがんだ支配構造からの解放をめざして — を受講して

まつもと

松本 みどり

百合丘キリスト教会

教会のカルト化、 私の中のカルトに目を向けて

私の受講のきっかけは7月に「神学入門」の講義で異端について話題になったことで、締切日に申し込みをしました。そもそも私にとってカルト問題は、旧統一教会についてメディアで取り上げられる機会も最近はなく、また以前はあったエホバの証人の訪問もなく、「カルト?」と遠い存在でした。また、普段の講義では画面越しの受講生と対面で会える機会であることも背中を押しました。



齋藤篤先生のお話は、レジュメの解説から法整備、そこに関わるご自身のエホバの体験や実際に接した方々の紹介がある濃い内容でした。カルトから離脱した方々が社会復帰するために多くの精神的ストレスを抱えることを伺い、その課題の根深さを感じました。お話を聞いていると体に力が入り、終了後は疲労感を覚えました。また先生に神の多くの働きがあることも知りました。

上原神学生は開会礼拝で「外部からのカルト、教会の中のカルト、自分自身のカルトに注意を向ける」と語られましたが、まさに講義では「正統」の基準が「わたしが正しいと考える」事にあることを示され、教会のカルト化の恐れや自分にあるカルト的なものなど、身近に潜む危険に気づかされました。「わたしが『カルト被害者』になる可能性」「わたしが『カルト加害者』になる可能性」の自覚を持つということは新たな視点です。

私たちは、基準は人ではなく神とみ言葉にあることを確信しています。日々、主との交わりや主の力に守られることに感謝し養われ、またカルト被害者の方々のためにさらに祈ることを示されました。

くまがい しんご

熊谷 真吾

常盤台バプテスト教会

何とも手に取りにくいタイトルだった。「わたしが『カルト』に? (日本キリスト教団出版局)」という表題は、当初、どこか遠い世界の話に思えた。



しかし、著者の一人であり本講座の講師をされた齋藤篤牧師は語る。「カルト問題で最も懸念されるべきことは、多くの人が持っている『カルトはわたしには全然関係ないこと』という認識です (P 69)」。エホバの証人を脱会したカルト経験者の言葉は重い。

もともと「儀礼」などを意味するカルトが、反社会的な宗教集団を指すようになったのは1970年代以降。講義では「ゆがんだ支配によって本来備わべき人権や尊厳が奪われるような構造」と定義した。宗教にとどまらず、親子や夫婦、商業や政治にもカルト化の萌芽は遍在する。つまり「わたしが『カルト』に?」というタイトルは、我々が被害者にも加害者にもなりうることを示唆しているのだ。

それでは、私たちの教会がカルトではないと端的に示すすべはあるか? 「エホバの証人や統一協会とは一切関係ありません」という但し書きは、異端ではないことの説明にはなるかもしれないが、異端とカルトは分けて考えたい。私たちの教義からは異端であってもカルトではないと考えられる教派がある一方、“正統な” 教会がカルト化することもあるからだ。

聴講者が見守るなか、齋藤牧師は静かに口を開いた。「『私たちはカルト化しない教会を目指しています。よろしければご自身の目でお確かめください。』—このようことは、カルト化した組織にはなかなか言えないのではないのでしょうか」

バプテスト会館への神学校移転について

東京バプテスト神学校 校長 藤井 秀一^{ふじ い しゅういち}（花小金井キリスト教会）

東京バプテスト神学校は、長年にわたり茗荷谷キリスト教会に教室と事務所を置いて活動してきましたが、2025年9月頃を目途に、日本バプテスト連盟のバプテスト会館（さいたま市南区南浦和1-2-4）への移転準備を進めています。

移転の主な理由は以下の2点です

1. コロナ危機をきっかけに、教会音楽科の一部講義を除くすべての講義がオンライン化され、教室利用が激減したこと。この変化は、教育のデジタル化という世界的な潮流でもあります。
2. 神学生の減少に伴う神学校運営の見直しの一環であること。これは、現代の神学校全般が直面している課題でもあります。

2025年度から施行される新カリキュラムは、「みんなの神学校」という理念のもと、科の枠組みを含めた大きな改革を行います。この改革は、変化する社会と教会のニーズに応えるものです。新カリキュラムと並行して2025年後半に新たな場所へ移転することは、困難な時代にあっても教会と共に前進していく神学校の挑戦です。

この移転により、神学校はより効率的な運営を実現し、同時に連盟事務所との近接性を活かした新たな可能性も探ることができるでしょう。私たちは、この変化が神学校の使命をさらに効果的に果たす機会になると信じています。

皆様のご理解とお祈り、そして今後も変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

神学校献金報告（2024年度4月～9月）

● 教会献金 …………… 28件 合計1,060,810円

【東京地方連合】 富里キリスト教会 大泉バプテスト教会 大井バプテスト教会 多摩ニュータウン・憩いの家教会 船橋教会 泉バプテスト教会（5） 仙川キリスト教会 新潟主の港キリスト教会 篠崎キリスト教会（2） 経堂バプテスト教会 花野井バプテスト教会

【北関東地方連合】 太田キリスト教会 ふじみ野バプテスト教会 上尾キリスト教会 西川口キリスト教会

【神奈川地方連合】 綾瀬小園キリスト教会 川崎バプテスト教会 逗子第一バプテスト教会 横浜JOYバプテスト教会 湘南台バプテスト教会 横浜戸塚バプテスト教会

【その他】 宇美キリスト教会 姫路城西キリスト教会

連合別内訳 東京687,250円、北関東189,260円、神奈川169,300円、その他15,000円

● 集会献金 …………… 10件 合計214,154円

入学礼拝席上献金 入学礼拝席上献金（オンライン） 東京地方連合北ブロック女性会 夏期講座席上献金 夏期講座席上献金（オンライン） 神学校デー図書献金（神奈川連合） ミニ演奏会席上献金

● 後援会献金 113件・オンライン月々支援 40名 …………… 合計1,760,700円

※詳細は後援会ニュース1月号に掲載いたします。

東京バプテスト神学校の働きを支援するために、あなたも「後援会」にご入会ください

1. 定期支援 個人会員：年額1口 ¥5,000 何口でも歓迎いたします
※後援会に入会すると受講料が半額になります（年会費は1年間有効）。

2. 自由献金支援 支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 **00210-8-75658** 東京バプテスト神学校後援会
※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。